

3月1日のお天気予報が良くなく、4日に変更しての実施。良いお天気に恵まれ、歴史たっぷりの低山ハイクを楽しみました。岩山が多くその山容に圧巻の連続、「すごいね・・・」の連発。中世、足利義昭を奉じての織田信長の上洛に協力しなかった六角氏攻めの舞台になったところ。瓦屋寺跡は聖徳太子が四天王寺建立時に、この地の土で瓦を焼かせたという近江初寺院だそうです。帰りには、八幡山にロープウェイで登り、豊臣秀次の八幡山城跡を探訪し、山頂から秀次の町作りに尽力した近江八幡の眺望・歴史ロマンを楽しみました。近江国の奥深い歴史ロマンに触れたハイキングになりました。今日も自然に感謝。出会いに感謝の1日でした。

◆ハイキングの様子

↓良く整備されていて、気持ち良いハイキングコース。地元の方々のご尽力に感謝です。



岩戸山：十三仏駐車場から



石の階段が続く



「気持ち良いね」



巨岩がいっぱい・・・



すごい・・・

大坂から、野洲、岩戸山、彦根佐和山へ通信する明治時代の米相場の旗振り場跡が残っている↓



岩戸山山頂の旗振り場

**小脇山城遺跡周辺の遺跡**  
 小脇山城遺跡の所在する箕作山（標高375m）は、湖東平野に特徴的な、平野からそびえる孤立山頂です。湖東流紋岩からなる巨岩が点在しており、神の依代である磐臺として古くから信仰の対象となっています。  
 聖徳太子御基と伝える寺院の瓦屋寺周辺には、58基の古墳からなる瓦屋寺山古墳群が所在し、古墳時代の歴史景観と考えられる遺跡も残っています。  
 太郎坊山は別名赤神山とも呼ばれ、雲石・夫婦岩が知られる太郎坊宮（阿賀神社）は、明治初年の神仏分離まで伝教大師開基と伝える寺院の瓦屋寺によってまつられており、その歴史は古いと見られます。また徳々太氏の居城、小脇館（脇藤遺跡）はこの霊山を背景として築かれたと考えられています。  
 岩戸山には、聖徳太子が刻んだと伝わる十三仏が安置されており、毎年地元による千日会が行われています。また大坂から、野洲、岩戸山を経て彦根佐和山へと通信する、明治時代の米相場の旗振り場跡が残っています。  
 東近江市教育委員会



↑岩戸山には聖徳太子が刻んだと伝わる十三仏が安置されており、毎年地元による千日会が行われています

聖徳太子が四天王寺を建立する際に瓦十万六千枚焼かせ、十一面千手観音・四天王像を自ら一刀し、近江最初のお寺瓦屋寺となる ↓1646年建立

小脇山山頂にて



箕作山山頂にて



檜皮葺の材料を採った



瓦屋寺跡：聖徳太子ゆかりのお寺↑。



昔から、この間を通過して参拝する者は即座に病苦を除き諸願成就するが、悪心あるものは岩に挟まれる ↓



太郎坊阿賀神社：湖東流紋岩、中世代白亜紀約7000万年前の火山活動でできた。



太郎坊山山頂(赤神山)



眺望



夫婦岩を行く



阿賀神社本殿



